



新毎日

11月10日(水)

2010年(平成22年)

発行所：大阪市北区梅田3丁目4番5号
〒530-8251 電話(06)6345-1551
毎日新聞大阪本社

日本32年ぶりのメダルへ!
第2次ラウンド最終戦
日本×ロシア

2010 WOMEN'S 今夜7時
世界バレー TBS系列
JAPAN 独占放送

News Click

食の安全問い続け 13

岡山市に岡崎久弥さんが森永ヒ素ミルク中毒事件資料館を開き、「食品公害の原点」を伝えている。

新生銀、総量規制超え融資 2

現代の名工に150人 27

アップルサイトで海賊販売 29

きょうのなるほど

沖繩知事選 あす告示 3

沖繩県知事選(28日投票)が11日告示される。現職と前直野湾市長の事実上の一騎打ち。結果は民主党政権が迷走する普天間飛行場の移設問題に影響を与える。

社説 5 +α 13 スポーツ 18 19
小説 10 17 読んであげて 21 暮・将棋 27

ご意見、ご感想は〒530-8251
毎日新聞「プラスα・ニュース」
P」係。郵便、ファクス(06-6346
・8104)、メール(o.talk-news
@mainichi.co.jp)へ。

おおさか発・プラスアルファ

発生55年 森永ヒ素ミルク事件の資料館

森永ヒ素ミルク中毒事件の被害者運動を伝える「森永ヒ素ミルク中毒事件資料館」が8月下旬、岡山市にオープンし、来館者が「食品公害の原点」に触れている。館長の岡崎久弥さん(48)が、運動に尽力した父親の故・哲夫さんとの約束を実現したもので、発生から55年がたった今も、食の安全とは何かを問い続けている。

岡山支局

椋田佳代

■「解決」「治癒」
資料館は岡崎さんの自宅を一部改装した。哲夫さんが残した膨大な資料の一部が、ヒ素が混入していたミルク缶や、皮膚が黒ずんだ被害児の写真を並んでいる。

食品公害再び許さぬ

哲夫さんは「救済組織と被害者団体は一定の距離を保つべき」と考え、活動方針の違いから86年に運動を退いた。そして「救済に至るまでの公書の間を残した」と、資料館設立を目指した。

■「不安と怒りの日々」
ゆり子さんには、おでこに小さな黒い斑点があった。ヒ素による色素沈着だ。小学生になると、鏡を見る度にヒ素の刻印におびえた。ひどい

水 ニュースUP



父哲夫さんが残した資料が山積み土蔵で、生前を振り返る岡崎さん＝岡山市北区番町で、椋田撮影

＜森永ヒ素ミルク事件の経過＞

- 1955年 6～8月 西日本一帯で粉ミルクを飲んだ乳児に原因不明の病気が発生
- 8月 岡山大が森永乳業徳島工場製のドライミルクからヒ素を検出。岡山県が公表
- 9月 「森永ミルク被災者同盟全国協議会(全協)」結成
- 58年4月 全協解散
- 6月 「岡山県森永ミルク中毒の子供を守る会」結成
- 63年10月 徳島地裁、業務上過失致死傷罪に問われた森永乳業の工場長らに無罪判決。地裁は控訴
- 69年10月 大阪大の丸山博教授が被害者の追跡調査「14年目の訪問」発表
- 11月 「守る会」全国組織発足
- 73年4月 「守る会」が国と森永を提訴
- 8月 森永乳業、因果関係を認める
- 11月 徳島地裁差し戻し裁判で森永乳業の製造課長に有罪判決
- 74年4月 財団法人「ひかり協会」設立、被害者救済始まる
- 5月 「守る会」民事訴訟取り下げ
- 83年6月 「守る会」は「森永ヒ素ミルク中毒の被害者を守る会」に改称

資料館(0660-224-0737)。来館は電話予約が必要。

◆そして、世界最高峰へ。75年、総勢15人のエベレスト日本女子登山隊の副隊長になった。貧乏隊で資材も不足し、苦勞が多かった。水不足の気温でテントを張っていると寒気が足がうつり、なぜこんな所にいるのだらうと思ったりもしました。

田部井 淳子(2)



たべい・じゅんこ 登山家。71歳(写真は75年5月、エベレスト8848mの頂上に立つ田部井さん。女性で世界初一女子登攀くとうはん)クラブ提供

エベレスト登頂

この時、中国隊も1月上旬に登頂せよと指示を受け、自国側からアタックしていた。私たちがエベレストから登頂したのは75年5月16日。11日後、中国隊が登頂に成功しました。隊員9人の中の1人に、女性がいまして。潘多さんといって、登頂の4年後にフランスで初めてお会いしました。仲良しになり、今年6月には中国・無錫の自宅マンションにお邪魔してきました。私はネパール側から、潘多さんは中国側から登頂した「初の女性

聞き手・野島康祐/火～土曜日掲載です。